



# かざし 37号

長野県長寿社会開発センター

飯伊地区賛助会 平成27年4月17日  
事務局 飯田市追手町2-678  
飯田保健福祉事務所福祉課 (飯田合同庁舎)



## シニア世代の社会参加についての意見交換会

2月17日(火)、飯田保健福祉事務所福祉課・(公財)長野県長寿社会開発センター飯伊支部・同センター飯伊地区賛助会の主催により、「シニア世代の社会参加についての意見交換会」が初めて行われました。当日は、賛助会員、市町村関係者・市町村社会福祉協議会関係者、シニア大学2年生の希望者の他に、シニア大学1年生はシニア大学の講座生として参加し180人余りが集まりました。前半は、賛助会グループの発表があり、後半は参会者が「シニア世代の社会参加」について話し合いました。

### 賛助会グループ活動の発表会



高森如月会



シニアニュースポーツクラブ



劇団赤門



大正琴の演奏

3つのグループは日頃の活動の様子を映像や実演を通して分かりやすく発表され、会場からは大きな拍手がありました。



ハーモニカ演奏



南京玉すだれ



舞踊おてもやん

大道芸  
南京玉すだれ



(公財) 長野県長寿社会開発センター

平成27年度 飯伊地区賛助会役員・事務局員名簿

役 職	氏 名	住 所	備 考
会 長	佐々木 亮助	飯田市鼎下茶屋	地区連絡協議委員
副会長	巻井 清人	松川町元大島	地区連絡協議委員
副会長	林 利夫	飯田市下久堅南原	編集副委員長兼任
会 計	赤羽 田鶴子	飯田市鼎西鼎	会計
幹 事	山本 雅子	飯田市東新町	活動サポーター
〃	三村 弘三	飯田市大瀬木	活動サポーター
〃	氣賀澤 健	飯田市座光寺	活動サポーター
〃	林 あつ子	阿智村駒場	編集委員兼任
〃	宮下 章子	飯田市丸山町	編集委員兼任
〃	竹村 元志	豊丘村河野	活動サポーター補佐
〃	鋤柄 惟夫	飯田市鼎中平	活動サポーター補佐
相談役	名取 津義生	飯田市松尾清水	編集委員長・元会長
〃	吉川 玲	豊丘村神稲	前賛助会会長
〃	越野 渡	豊丘村河野	前賛助会副会長
監 事	大島 安好	飯田市北方	元賛助会会長
監 事	福島 一榮	飯田市座光寺	元賛助会会長
編集委員	近藤 和子	飯田市松尾久井	
〃	日比野 千恵	阿智村駒場	
〃	三村 綾美	飯田市宮ノ上	
事務局長	石澤 一志	飯田保険福祉事務所	福祉課長・地区連絡協議会委員
事務局次長	石黒 克己	〃	福祉課社会係長
事務局主幹	北澤 康明	〃	長寿社会開発センター担当
社会活動推進委員	松澤 秀明	〃	シニア大学・賛助会担当





## (公財) 長野県長寿社会開発センター飯伊支部 事務局長ご挨拶

### 《就任》 石澤 一志

この度、4月1日付けで飯田保健福祉事務所福祉課長に着任し、長野県長寿社会開発センター飯伊支部長兼事務局長としてお世話になることになりました。

飯伊地区賛助会の皆様には、日頃から文化活動やボランティア活動を始めとし、地域の社会活動に積極的に取り組まれていることに敬意を表するとともに、佐々木会長を中心に今後とも組織運営とグループ活動が積極的に行われることを御期待申し上げます。



さて、長野県では、平成27年度から3か年の「第6期長野県高齢者プラン」を策定し、基本目標のひとつに「生涯現役で居場所と出番があり健康長寿の喜びを実感できる社会」を掲げ、高齢者の方々が培ってきた知識と経験を活かし、生きがいをもって、積極的に就業や社会参加することができる「人生二毛作・生涯現役社会」の実現に取り組むこととしております。

センターにおきましても、シニア大学の運営や信州ねんりんピックへの参加など、今後とも皆様方が地域でより一層御活躍いただけるよう努めてまいります。

結びに、飯伊地区賛助会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を御祈念申し上げ、就任の御挨拶とさせていただきます。

### 《退任》 山崎 真弘

4月1日付けの人事により、飯田建設事務所へ異動することとなりました。飯田保健福祉事務所在勤中の3年間大変お世話になりました。

「人生90年時代」とも言われるこれからの時代。その中で、飯田下伊那には地域のために何か役に立ちたいという前向きな思いの方が大勢いらっしゃいます。ぜひ、今後とも自身のできる範囲のことを継続され、健康長寿をともに喜び合い、安心して暮らせる地域社会を築いていただければと思います。

飯伊地区賛助会の皆様がこれからもご健勝で、一層ご活躍されますことを祈念申し上げます。



## (公財) 長野県長寿社会開発センター飯伊地区賛助会長 ご挨拶

### 《就任》 佐々木 亮助

前年度会長が任期半ばにてお辞めになり、引き継ぐことになりました。飯伊地区の賛助会員も年々減少し、とうとう200名を割る結果になり残念な思いです。

昨年度シニア大2年生の「実践活動発表会」を聞かせていただき、各グループ一人一人が生きがいを見つけ“人づくり、仲間づくり、健康づくり”など社会参加をする元気な皆様を見ることができ、明るく豊かな長寿社会づくりに、積極的に貢献し地域社会を支えていく姿を心強く感じました。

私たちも考えを新たにし、シニアの皆様方が一人でも多く賛助会に入会して頂けますよう努めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

### 《退任》 吉川 玲

全県的に会員の減少という、賛助会員の変革期に、一年間と云う短い間でしたが、会長の席を汚させていただき、会の活性化、会員の増強等に取り組み、新しい施策も試みましたが、結果として表すことができず心残りであります。新しい組織で新しい方向を見出して、賛助会の目的である社会活動を通じて“生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり”に取り組んで行って頂きたいと思っております。

微力者の私を支えていただいた皆様方に感謝申し上げます、退任の挨拶と致します。



# 賛助会役員就任の挨拶

(就 任)

平成27年4月1日

《就任のご挨拶》

事務局主幹 北澤 康明

本年度より（公財）長野県長寿社会開発センター飯伊支部で主幹を務めることになりました北澤といたします。内容としましては、運営に当たっての事務を任されることとなりますが、諸先輩方や皆様のお力をお借りして、良い運営ができるように尽力したいと思っております。至らない面もありますが、よろしくお願いいたします。

《就任のご挨拶》

竹村 元志

私はシニア大学飯伊学部第35期生としてこの春卒業することができました。過日立派な文字で私の名前を大書した卒業証書をいただきました。私はこのような立派な卒業証書に値する学習態度であったかと、今しきりに反省しているところです。このような不心得な私が賛助会役員の一に推薦頂きました。在学中の不勉強の罪滅ぼしと思い、出来るだけの努力をいたしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

《就任のご挨拶》

氣賀澤 健

この度、飯伊地区賛助会の役員を仰せつかりました。お引き受けはしたものの、何の知識もあるわけでもなく、大任を全うできるか不安でいっぱいです。何分にも初めてのことでありますので諸先輩役員、会員の皆様のご指導とご協力をいただきながら、精一杯務めさせていただき覚悟しております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

《就任のご挨拶》

鋤柄 惟夫

賛助会に入会して  
青春、はや夢と過ぎ、制約多き（家庭、仕事、地域、自分の能力等）熟春もなんとか乗り切った、あと白春で何をすべきか、いかに生きべきか模索している中、諸先輩方の考え方、生き様を見聞きするべく入会いたしました。ところが、青天の霹靂、役員ということに相成ってしまいました。浅学非才の私としては、誠意を持って、有るを尽くして事に当たっていくしかないと思っております。会のますますの充実発展を願っています。

## 賛助会・総会のご案内

と き : 平成27年6月5日(金) 午後1時30分~

と ころ : 飯田合同庁舎 3階・講 堂

当日下記の講演会があります。どなたでも聞くことができます。

講演会のご案内 講師 前松川町資料館職員 酒井幸則さん  
演題 生田村へ墜落した戦闘機と塩倉の人々



《俳句》

探梅や無人の駅の時刻表  
梅二月往復切符ポケットに

原 順子



《短歌》

耐えてきしことは語らず梅真白  
猫柳煙し銀なる師の句集

宮下 章子

《川柳》

わだかまりなき友ばかり

シニア大の同期の宴の時を忘れて

田島 英征

先をよめ読めるわけない先がない  
「離さない」十年経つと「話さない」

詠人知不



《原稿募集》

(公財)長野県長寿社会開発センター飯伊地区賛助会では年4回の機関誌「かざこし」を発行しております、その季節に併せたもの、行事、イベント等紹介しておりますが、今回はシニア大1・2年生、賛助会グループの皆さん、各団体、市町村の皆様にご参加頂き、賛助会グループの活動発表と、コーディネーターを交えた参加者による「シニア世代の社会参加について」をテーマに意見交換会を行いました。

これを主に2ページを使い、文芸欄・役員新任退任のご挨拶等6ページです。編集部では毎回皆さんの原稿をお待ちいたしております。詳しくは事務局、編集委員会にお尋ね下さい。

- ◇ 事務局 飯田保健福祉事務所・福祉課 担当 松澤 ☎ 0265-53-0464 FAX 0265-53-0474
- ◇ 編集委員会 同上 担当 名取 ☎ 0265-53-1165 FAX 0265-53-1165

《編集後記》

厳しかった寒さもようやく和らぎ、桜もあちこちで開花、春の息吹を感じる季節となりました。また3月14日には、長野と金澤を結ぶ北陸新幹線が開通し、併せてこの地でもリニア新幹線の中心測量が4月中旬より始まるとの報道があります。さらに南信地区に第二県庁をとの話もあり、今まで北高南低であった長野県も、いよいよ南への新しい息吹が吹こうとしております。

賛助会も新年度が始まりますが、近年、賛助会への入会者の減少が目立ち、大変な時期となっております。会員の皆様も、この会のよいところを多くの皆様にアピールして頂き、シニアの充実した集まりである賛助会が益々充実、発展することを願っております。

賛助会相談役 越野 渡



## 社会参加についての意見交換会



問「シニアである自分が、地域（お寺の鐘が聞こえる範囲）で、できることがありますか。」色紙を挙げて始めました



飯田市社会福祉協議会  
矢野寿明・コーディネーター

高森如月会  
山崎房人さん

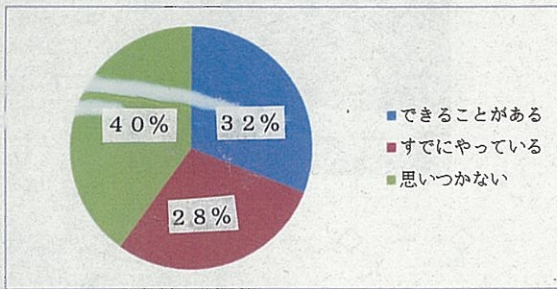
シニアニュースポーツ  
クラブ 名取津義生さん

劇団赤門  
宮島節男さん

長寿社会開発センター  
シニアコーディネーター  
矢野明美さん

問 シニアである自分が、地域（お寺の鐘が聞こえる範囲）で、できることがありますか。

（シニア大1年生へのアンケート結果）



ご自身の体験を話されるシニア大生



自分としてどうすればよいか考え合いました

○問1について、自分の今の状況について ※（シ生）とあるのはシニア大生のこと

（シ生）何かをやらなければいけないと思うが、さて何をやるかとなると困ってしまう。

（シ生）今JAのお店の前に「どうぞの椅子」というのを置いて、自由に使ってもらおう活動をしている。

（シ生）お年寄りのみなさんに集会所に集ってもらい活動する会を、一緒にやってくれる人を探している。

○シニア大の実践講座で、実際に活動をしてみて感じたこと

（シ生）福祉施設へ行って活動することに大きな不安があった。しかし、実際にやってみると自信がついて、続けて行いたいとなった。3月にも行うように計画している。

（シ生）最初にボランティア活動と言われた時は、何をしたいのか分からなかった。話し合いをする中で、入所者の皆さんと触れ合えるようお願いし、当日、触れ合う時間が持てて、自分の今までの考えが変わった。

（シ生）施設での活動を通じて、生きていくには人との接触が大事なことが分かった。自分の将来の参考になった。

（高齢者クラブ員）シニア生の活動は素晴らしい。本当にシニア世代が役立つことをしていかななくてはならない。

○始めるきっかけが欲しいとか、一緒にやってくれる仲間が欲しいという課題にパネラーの皆さんは

（パネラー）シニア（老）大を卒業した同じ地域に住む仲間で始めたと聞いている。仲間は大事だ。

（パネラー）シニアが明るく元気であることが社会貢献だ。始める時のリーダーの存在は大きい。

（パネラー）体の健康は薬で治せるが、心の健康はボランティア活動で得られる。

（パネラー）今日はボランティア活動に焦点があつたが、社会参加には「就労」という領域もあり範囲は広い。

（コーディネーター）短い時間でしたが、発言をいただき、社会参加についての考えを共有することができた。